

まちづくり会議委員紹介

「創立70周年を地域の皆様と共に」

習志野市立第一中学校
校長 新井嘉晴

平成29年11月18日(土)習志野市長 宮本泰介様はじめ多くのご来賓の皆様をお迎えして、習志野文化ホールにて創立70周年記念式典を開催しました。生徒会による一中の歴史DVD上映やパイプオルガンとコラボした管弦楽部の記念演奏、全校合唱「大地讃頌」など、一中らしく厳粛かつ華やかな式になりました。また、記念事業の一環として電光掲示付き屋外掲示板を設置いたしました。日頃より大変お世話になっている地域の皆様へ一中生の頑張りをお伝えし、少しでも地域の明るい話題の一つになればとの願いが込められています。

この度の創立70周年の記念事業の実施にあたりましては、谷津・向山地区まちづくり会議の本宮 隆 議長様、町会長様、自治会長様はじめ多くの地域の皆様にご指導並びに、多大なるご支援をいただきました。皆様の温かなお力添えに深く感謝申し上げます。

本校は、戦後の新教育制度の下、昭和22年に津田沼町立津田沼中学校として誕生しました。本校は創立当初より「文武両道」を校訓に学業だけでなく部活動や音楽教育に力を入れてきました。その結果、管弦楽部は全国コンクールで最優秀賞を最多受賞。運動部では、陸上部、バスケットボール部が全国制覇するなど、常に市や県を代表する中学校としてその名を響かせてきました。これも、歴代の卒業生の汗と涙と努力の結晶であります。そして、創立当初より、保護者の皆様や地域の皆様の力強いご支援が大きな力になっていました。改めて、保護者の皆様、地域の皆様へ深く感謝申し上げます。

一中は、新たに輝く歴史を築くために、今後も文武両道を究め、夢や希望に向かって努力します。また、地域をつなぐ絆の要として、地域の皆様へ勇気と希望の光を発信する「灯台」を目指し、精進してまいります。地域の皆様におかれましては今後とも第一中学校への変わりぬかなご支援を宜しくお願い申し上げます。



創立70周年記念式典



電光掲示板

編集後記 第一中学校創立70周年おめでとうございます。新井校長、ご寄稿有難うございました。まちづくり会議役員のうち4名の方(50歳代から70歳代)が、同校の卒業生であり、このたび70周年を迎えて感慨深いものがあると思います。また、津田沼駅南口の「明かり」に大変貢献していただいている津田沼南口商店会の高橋会長からもご寄稿いただきまして有難うございました。(総務担当)

谷津向山地区まちづくり会議だより

平成30年3月発行(第2号)

発行者 谷津向山地区まちづくり会議議長 本宮 隆

平成29年度まちづくり会議開催状況

開催場所：谷津コミュニティセンター

開催日	出席者	主な議題
第1回 平成29.5.7	65名	①まちづくり会議規約改正 ②習志野きらっと2017の案内 ③29年度ごみゼロ運動 ④第一中学校創立70周年事業記念基金 ⑤29年度まちづくり会議要望の回答(後記)
第2回 29.7.8	54	①習志野市空家等対策計画の概要 ②熱中症対策(熱中症の予防には水分補給と暑さを避けること)
第3回 29.9.9	56	①谷津小学校全面改築(後記) ②高齢者等実態調査結果(次期高齢者保健福祉計画、介護保険事業計画の策定に向けて高齢者市民アンケート調査を実施) ③30年度まちづくり会議要望の概況報告(後記)
第4回 29.11.11	47	①29年度習志野市総合防災訓練の成果等(後記) ②健康支援課からのお知らせ(知って防ごうインフルエンザ・かぜとインフルエンザの違いなど)
第5回 30.1.28	58	①地域犯罪と交通事故の傾向と対策(後記) ②市からのお知らせ(a:コンビニエンスストアで住民票の写し・印鑑登録証明書など各種証明の取得が可能となった。マイナンバーカードが必要。b:習志野文化ホールは、改修工事のため1月15日から12月31日まで休館。事務室では通常通り利用受付などの業務を行う。c:市庁舎1階に市民食堂が1月22日にオープン。) ③健康支援課からのお知らせ(生活習慣病予防・歩くから始める運動習慣)

第5回まちづくり会議・宮本泰介市長挨拶



まちづくり会議からの要望と回答の概要

習志野市はまちづくり会議から要望があったときは、次のような検討を経て回答しています。

なお、予算化が必要ない場合は、担当部で調査検討し回答しています。

まちづくり会議からの要望⇒協働政策課へ提出⇒担当部で調査検討（翌年度予算に反映するものと、しないものに分類）⇒査定予算案の編成⇒議会の議決⇒回答・事業の実施

(1) 平成29年度のまちづくり会議からの主な要望と回答

要望内容	回答
谷津3-30番地先：防犯灯をLDE球に交換してほしい。 (谷津3丁目町会)	29年2月に設置。
谷津2-9-11号：交通量が多く、かつ死角が多い危険な道路であるから危険を示す表示を希望する。 (谷津2丁目向山町会)	当該箇所「スピード落とせ、交差点注意、この先カーブ注意」などの路線表示・電柱幕をする（29年6月設置）。
谷津4-6-31号付近：谷津遊路の中央を横断する道路に一時停止の白線を引いてほしい。(谷津遊路管理組合)	習志野警察署に補修依頼中
奏の杜2丁目付近：駅から谷津小に向かう通りの街路樹で枯れているものが目立つ。植樹を含めて検討してほしい。 (奏の杜パートナーズ居住者会)	ビル風の影響を受けている。28年に枯れたものを植え替えた。気候に合ったものに植え替え等検討したい。
谷津3-1番：ローズタウンと干潟公園等の境界線（フェンス間）で雑草が生えないようコンクリートで塞いでほしい。 (谷津3丁目ローズタウン自治会)	除草は29年3月完了。除草の恒久的な対策としては土系舗装を検討している。
谷津6-19-3号付近：急なカーブのため前方が死角になっている。カーブミラーの設置を希望する。 (津田沼フラット自治会)	当該箇所は目視により安全確認ができるため、ミラーの設置はできない。安全対策として「とび出し注意」などの路面表示を行った（29年5月）。
谷津7-7：公園の深夜の騒音を規制してほしい。 (津田沼アカシアハイツ自治会)	看板を設置しマナーの向上を呼び掛けるが、改善しない場合はパトロールを検討する。

路面標示（津田沼フラット自治会付近・30年2月）



奏の杜2丁目の街路樹（30年2月）



谷津向山地区まちづくり会議だよりによせて

津田沼南口商店会 会長 高橋 賢

昭和40年半ば、国鉄総武線津田沼駅と称した頃の同駅周辺は、地域の整備が未だゆき届かず、南北とも雑然とした街並みを呈していました。そんな頃の昭和44年に津田沼南口商店会が発足しました。当時商店会会員の数も少なく、運営・維持に苦労した時代でしたが、そんな中でも、地域の町会や団体の皆様の協力を得て、そして地域の連携と活性化を目指して、早速盆踊り大会（＝夏まつり）を企画しました。土埃舞う広場に、手作りのやぐらを立て、そのやぐらの上で太鼓を打ち鳴らし大いに盛り上がりを見せました。

盆踊りの期間中の土埃には、多少の苦情もありましたが、商店会と地域町会・団体との文字通り「土の香りのする、力強い地域の人間関係」を象徴するお祭りでした。

そして、その伝統は、今年51回目を迎える「いきいき津田沼夏まつり」に深く、そして強く引き継がれています。そのような中、「文教住宅都市」としての発展を目指す習志野市は、津田沼駅周辺の整備事業に着手します。昭和47年には津田沼駅南口駅舎が完成し、津田沼地区全体の発展への足がかりの第一歩となりました。

そして、昭和51年に着工、昭和53年に開業したサンパデック（現モリシア）は、大型商業施設の端緒としてこの地域を国内でも有数の商業地域へとそだててきました。以降、津田沼南口商店会地域は、いく度かの変遷を経て現在の形へと成長して参りました。一方、急激な人口増加に伴い地域の賑わいを見せる中、地域間の人間関係の希薄化や事故や犯罪に対する懸念も増大してきています。津田沼南口商店会では、それらの懸念や地域の活性化の一助となるよう、新たな事業に取り組みました。その取組の一つが、平成元年と平成3年の両年にわたって南口商店街に網羅した、108基の街路灯の設置です。これがこの地域に照明にとどまらない「明かり」を提供しました。さらに平成24年度から商店会主要18箇所に設置した「防犯カメラ」と既設の街路灯の「LED電球化」事業では、地域をより明るく、事故や犯罪を未然に防ぐ手助けになることを願って整備しました。

そして、地域の元気と人の結びつきをさらに深まることを願って「夏まつり」の他、11月初旬から翌年2月中旬まで、商店会街路、津田沼駅周辺、そして津田沼公園に10万球を超えるイルミネーションで飾り、人々の心にぬくもりを感じていただけることを願っています。津田沼南口商店会は、これからも地域の安全安心と活性化のために、前向きに活動していきたいと思っております。

イルミネーション



点灯式における高橋会長の挨拶



防犯カメラ



平成 29 年度防災訓練の実施

谷津連合町会は平成 30 年 2 月 4 日谷津南小学校・市消防団第一分団、市消防署谷津出張所、市危機管理課の協力により、谷津南小グラウンドで防災訓練を行いました。

最初に、町会等や自主防災組織加入者、まちづくり会議委員などの参加者（約 150 人）は自宅でシェイクアウト訓練を行った後、同小グラウンドに避難しました。

そして、テント組立て訓練、炊出し訓練（谷津 3 丁目町会会長市瀬氏ほか会員 15 名が豚汁を調理し、参加者から大変好評であった。）、水消火器訓練、心肺蘇生法訓練（AED 操作など）、異物除去訓練（餅などをのどに詰まらせたときの吐きださせ法）、簡易担架作成訓練（毛布と 2 本の竿により作成）を行いました。また、第一分団員によるポンプ操法模擬演技（写真）がありました。なお、来賓の宮本習志野市長、米山危機管理監から防災訓練の重要性についての講話がありました。

水消火器訓練



ポンプ操法模擬演技



まちの話題紹介

奏の杜 2 丁目遊歩道のガス灯

習志野市企業局

奏の杜フォルテとマンションの間にある遊歩道入口にガス灯が設置されています。市営ガスのまちである習志野市内には 4 つのガス灯がありますが、奏の杜のガス灯はこれらの中で最も新しく、平成 25 年 4 月 13 日に設置されました。習志野市の木アカシアをイメージした独特のデザインが特徴で、広場を囲むように 8 基設置されています。他のガス灯と異なり、発光体のガスマントルを使用していないため、炎のゆらめきが直接見られ、ガスの暖かさをより実感することができます。ガス灯にはスピーカーが内蔵されており、季節や時刻に応じたサウンドが流れガス灯の魅力をよりいっそう引き立てています。



(2) 平成 30 年度のまちづくり会議からの要望

町会等	要望内容
ソフトタウン谷津遊園管理組合	京葉道路側通行路の防犯灯のLED化、同所の花壇の柵の更新（谷津4-8）
谷津1丁目菊田台自治会	横断歩道表示の舗装（谷津1-12）
津田沼フラット自治会	徐行などの注意表示（フラット裏の道路）、カーブミラーの設置（谷津6-14付近T字路）、路上駐車取締り強化（谷津6-19）
谷津3丁目ローズタウン自治会	境界フェンス間の雑草、樹木対策（谷津3-1）
津田沼アカシアハイツ自治会	公園の樹木剪定依頼（谷津7-7）
谷津3丁目町会	谷津干潟のアオサ回収強化
奏の杜パートナーズ居住者会	モリシア西側車道の歩行者横断対策、谷津奏の杜公園の芝生などの管理、オレンジロードの植栽部分の歩行者通行対策、津田沼公園の整備と清掃、生活道路の車両速度の減速対策（奏の杜地区ほか）

谷津小学校全面改築について

谷津小学校は、児童増加及び老朽化対応として、平成 29 年 3 月に一時校舎を設置し、また、現在、新校舎建設のための設計業務に取り組んでいます。このような中、地域の皆様には御理解・御協力をいただき、谷津奏の杜公園の多目的広場を利用し、谷津小学校の体育の授業等を実施することができており、御礼申し上げます。その他、第一中学校については、教育環境の改善を図るため、平成 29 年度から 2 カ年をかけトイレの改修工事を予定しています。

谷津小学校全面改築の概要は下記のとおりです。

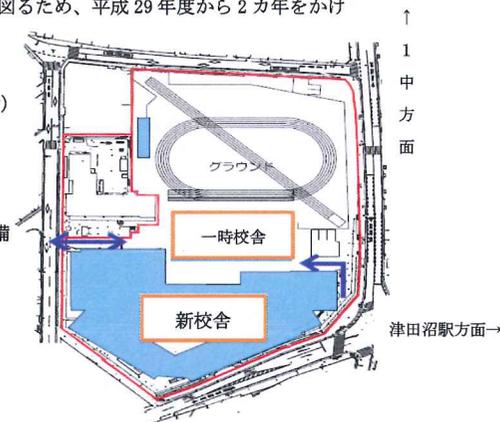
（説明者：教育委員会事務局担当者）

【全体計画の概要】

- 平成 27～29 年度 新校舎の基本・実施設計
- 平成 30～32 年度 新校舎建設
- 平成 32～33 年度 既存校舎の解体・グラウンド整備

【校舎の概要】

- 建物：鉄筋コンクリート造、高さ 19.9m
- 地上 4 階（3 階+屋上プール）
- 普通教室：30 教室、学習室：2 室、特別支援教室：3 教室
- 特別教室（図書室、パソコン室、家庭科室、音楽室、多目的室、理科室、図工室）
- 放課後児童会室：2 室、その他：体育館、給食室、屋上プール、管理諸室



平成 29 年度習志野市総合防災訓練の成果等

習志野市は平成 29 年 9 月 24 日、市役所・関係機関の連携による訓練を実施し「公助力の強化」を図るとともに、市民が発災直後の初動を確認し「自助力、共助力の向上」を図ることを目的とした、広く市民が参加できるような実践的な訓練を行ないました（説明者：米山 危機管理監）。

訓練の概要、成果など

1. 実施した訓練：市民初動訓練（身を守るシェイクアウト訓練と安否確認訓練）、避難所運営訓練ほか 7 訓練
2. 参加者：市民 2196 名（うち 1 中 63 名・谷津小 103 名・向山小 67 名 谷津南小 56 名）、職員・関係機関 652 名
3. 避難所運営訓練等の主な成果
 - ・良好な事項：準備段階から積極的に協力した自主防災組織や町会等が増加。
 - ・改善すべき事項：市民初動訓練を実行したかどうかの確認が不十分。
 - ・今後の課題：市域の処々で防災無線が聞き取りにくい。
- 4 今後の主な方向性

防災行政無線が聞き取りにくいとの指摘については、「防災行政無線のデジタル化事業」に合わせて改善する。



避難所運営訓練時及びまちづくり会議における主な Q&A

- (Q) 谷津南小の避難所は何 m の高さの津波まで安全か。
- (A) 習志野市沿岸地域の護岸の高さは、3.8m ある。市の地域防災計画における津波想定は 2.4m（東京湾口 10m の場合）であるから、避難所を含む沿岸住民の安全は確保できると考えている。
- (Q) デジタル受信機を導入するとの説明があったが、音声は向上するのか。また、防災行政無線放送は防災情報伝達手段のうちの一つと考えてよいか。
- (A) デジタル受信機は、音量を調整できるので、音はよく聞こえるようになるかと考える。防災情報伝達は、防災行政無線放送のほかメール（緊急情報サービスならし）による配信やジェイコムによる放送も行っているため、配信の登録などを行ってほしい。

地域犯罪と交通事故の最近の傾向と対策について

習志野警察署管内の地域犯罪と交通事故の最近（29 年）の傾向と対策について説明します。（説明者：習志野警察署担当者）

習志野警察署（HP より引用）



- ・平成 29 年の犯罪発生件数は 1548 件であり、前年度に比べ減少傾向。検挙件数は 693 件であり前年度より大幅に増加した。

- ・強盗殺人事件は微増、重要窃盗事件は激減した。

男女間や家族間のトラブルなどの小さな事件が大きな事件に発展することがある。些細な事件でも生活安全課に相談されたい。窃盗対策としては補助錠やガラス破り防止シートが効果的である。習志野市は街灯が多いが、深夜、夜間人通りの少ない場所、暗がりなどの通行は避けるべきである。

- ・特殊詐欺事件（振り込め詐欺事件など）は 79 件、被害額 1 億 6000 万円である。前年度（30 件・1 億 2000 万円）より大幅に増加した。管内の詐欺事件で複数の犯人を逮捕した。固定電話の場合はナンバーディスプレイの導入や留守番電話とするなどの対策が必要である。
- ・29 年の交通事故は死亡 3 人、人身事故 434 人であり高齢者や自転車運転中が多い。物損事故は 2982 件である。なお、谷津地区の人身事故は 43 件である。事故防止策として交通安全広報、速度違反の取り締まり、酒気帯び運転の取り締まりを強化している。

谷津連合町会の近況

地域祭り・ジャズコンサート

谷津連合町会は、平成 29 年 11 月 12 日、向山小学校の協力により同校体育館でジャズコンサートを開催しました（経費は市の補助金と連合町会負担）。

当日は、「菌田憲一とデキシーキングス&FUMIKA」によりディズニードレー、フォスターメドレーなど多数の曲が演奏されたほか、オーピックシーガルズ（アメリカンフットボールの社会人トップリーグ）専属チアリーダーによるパフォーマンスショーが披露され、約 300 名の入場者を終始魅了しました。



菌田憲一とデキシーキングス&FUMIKA のプロフィール

デキシーランドジャズの大御所・菌田憲一が 1960 年にデキシーキングスを結成したジャズ界の老舗、今年で結成 58 年目である。

FUMIKA は、故菌田憲一の長女として幼少のころからステージに立ちジャズヴォーカリストとしての道を歩む。